

# 1. 将来交通量推計の目的及び前提条件

## (1) 将来交通量推計の目的

- 今回提示する将来交通量は、東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）の都市計画案に基づき推計を実施し、外環整備に伴う周辺道路の交通への影響などについて具体的に検討するための基礎的資料とするためのものである。

## (2) 将来交通量推計の前提条件

### 推計年次

- 将来交通量の予測年次は、外環道の供用開始時点を想定した平成 32 年及び幹線道路ネットワークの整備が概ね完了した状態を想定した平成 42 年とした。

### 外環道

- 外環道については、平成 32 年には関越道から東名高速間が、平成 42 年には関越道から湾岸線間が整備されていると仮定した。
- 関越道から東名高速間は延長約 16 km、全線 6 車線で速度 80 km/h の規格と仮定した。
- インターチェンジは、目白通り（東名高速方面と接続）、青梅街道（関越道方面と接続）、東八道路（関越道方面・東名高速方面・中央道と接続）に設置されると仮定した。

### 将来道路網

- 将来道路網は、現在の一般都県道以上の道路網を基本に、国の高規格幹線道路の計画等、東京都の第三次事業化計画等から各推計年次までに整備がみこまれる路線を加え仮定した。
- 環境への影響が大きいと考えられる外環ノ 2（地上部街路）がある場合を想定し、参考として、外環ノ 2 がない場合も想定した。

### 料金体系

- 外環道は全線 500 円均一（普通車）と仮定した。